

研究主題

中学生として求められる「確かな学力」を身につけた生徒の育成
～日々の教育活動における定着・習熟の時間の工夫を通して～



研究目標

- (1) 授業での確かな学力の定着を目指し、一単位時間や一单元など一区切りの授業の中に、定着・習熟の場면을重視した授業づくりと、互いに参観しあい成果や課題を共有しあえる授業研究会の形を工夫し、生徒の学力向上と、職員の授業力向上に取り組んでいきたい
- (2) 授業での確かな学力の定着を後押しするため、「見る」「書く」「読む」「聞く」「伝える」などの基礎的な力を、授業以外の教育活動の様々な場面を通して生徒に身につけさせる方法を検討し、実践していきたい



研究仮説

- (1) 日々の授業で、生徒の実態に応じた定着・習熟の場면을重視した学習過程を取り入れ、全職員で成果と課題を共有しあいながら授業改善を重ねてくことで、中学生として求められる確かな学力を育てることができるだろう
- (2) 授業以外の教育活動で、「生活」「学習」「表現力」の各項目に関する生徒の実態を把握し、課題を踏まえ、「見る」「書く」「読む」「聞く」「伝える」などの活動を充実させていくことで、確かな学力を身につけるために必要な力を身につけることができるだろう



研究内容

<p>【授業力向上班】 …授業で、定着・習熟の時間を工夫し、確かな学力を身につけることを目指す班</p>	<p>【学校生活向上班】 …授業以外の教育活動で、確かな学力を身につけるために必要な能力の育成を目指す班</p>
<ul style="list-style-type: none"> ① 定着・習熟の場면을重視した授業づくり ② 授業参観の視点表(職員向け)の作成と活用 ③ 授業評価アンケート(生徒向け)の作成と活用 ④ 成果と課題を共有できる事後研究会の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校生活についてのアンケートの作成と活用 ② 教室以外の掲示物の工夫 ③ スピーチ活動の導入と工夫 ④ 「意見を相手に伝える」エンカウンターの実施

(3) 研究組織



(4) 研究に関する日程等

学期	委員会・研修等	内容	全体	授業力向上班	学校生活向上班
1	4月 3日(火) 研究推進委員会	平成30年度 研究方針			
	4月 4日(水) 職員研修	主題研 班研→全研	平成30年度 研究方針確認		
	4月 9日(月) 職員研修(予備)	主題研			
	4月23日(月) 職員研修	主題研			
	5月21日(月) 職員研修	主題研			
	6月20日(水) 職員研修	主題研			
	7月 4日(水) 職員研修	主題研			
	夏季休業中(未定) 3～4程計画	主題研	研究紀要原稿締切		
	8月29日(水) 職員研修	主題研	研究紀要原稿確認		
2	10月 3日(水) 職員研修	主題研			
	10月24日(水) 職員研修	主題研			
	11月14日(水)	学力向上 研究公開			
	12月19日(水) 職員研修	主題研			
3	1月23日(水) 職員研修	主題研	校内研究のまとめ 作成・提出		
	3月 6日(水) 職員研修	主題研 ※次年度計画			
	3月27日(水) 職員研修	主題研 ※次年度計画			

2 4月4日(水)職員研修について

(1) 全体研修(8:30~9:00)

- ・平成30年度研究計画
- ・組織確認 各班班長の決定
- ・研究の方向性の確認
- ・研究に関する日程等の確認

(2) 班別研修(9:10~10:10)

- ・4月からの具体的な取組の検討
- ・班の中での日程・役割の確認等

※まとめたものをデータ化し、共有 → 平成30年度 → 主題研究 に保存してください。

○ 授業力向上班・・・図書室

① 定着・習熟の場면을重視した授業づくり

- ・全職員、年度内に1回参観授業を行います
- ・指導案(略案)の形式を検討
- ・11月の研究公開時、どの教科で授業を実施するか

② 授業参観の視点表(職員向け)の作成と活用

- ・前年度作成したものを再度検討

③ 授業評価アンケート(生徒向け)の作成と活用

- ・前年度作成したものを再度検討

④ 成果と課題を共有できる事後研究会の工夫

- ・前年度の課題を踏まえ、事後研の方法と時間などを具体的に検討

○ 学校生活向上班・・・家庭科室

① 学校生活についてのアンケートの作成と活用

- ・「生活」「学習」「表現力」の項目での実態把握
- ・前年度作成したものをベースに、項目等を検討

② 教室以外の掲示物の工夫

- ・生徒作品など、より効果的な掲示場所、掲示内容の工夫

③ スピーチ活動の導入と工夫

- ・帰りの会でのスピーチ活動の工夫

④ 「意見を相手に伝える」エンカウターの実施

- ・コミュニケーション能力の向上を図る、エンカウターの工夫

3 4月5日(木)職員研修について 8:30~9:30

- ・4月4日(水)判別研修の報告
- ・平成30年度研究計画 組織確認
- ・研究の方向性の確認
- ・研究に関する日程等の確認

(4) 研究のイメージ

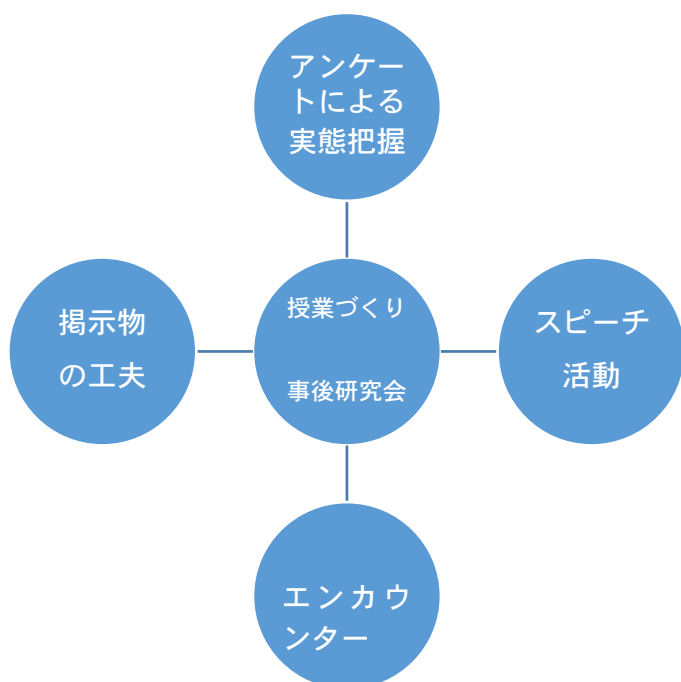
基礎：新時代を生き抜く「4つの学ぶ力」

他者から学ぶ力

自ら学ぶ力

自然から学ぶ力

社会から学ぶ力



1 平成30年度の研究について(案)

(1) 研究主題・副題

中学生として求められる「確かな学力」を身につけた生徒の育成
～定着・習熟の時間の工夫を通して～

※用語の定義について(H30飫肥中学校版)

「確かな学力」

授業での知識や技能の習得に加え、意欲的に学び、自分で課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等を含めたもの

(2) 研究の全体構想

研究主題

中学生として求められる「確かな学力」を身につけた生徒の育成
～定着・習熟の時間の工夫を通して～



研究目標

- (1) 定着・習熟の場면을重視した授業づくりと、授業研究会の形の工夫・改善を行い、「確かな学力」を身につけた生徒を育成する。
- (2) 学習環境の整備や、コミュニケーション能力を高める指導の工夫・改善を行い、「確かな学力」を身につけた生徒を育成する。



研究仮説

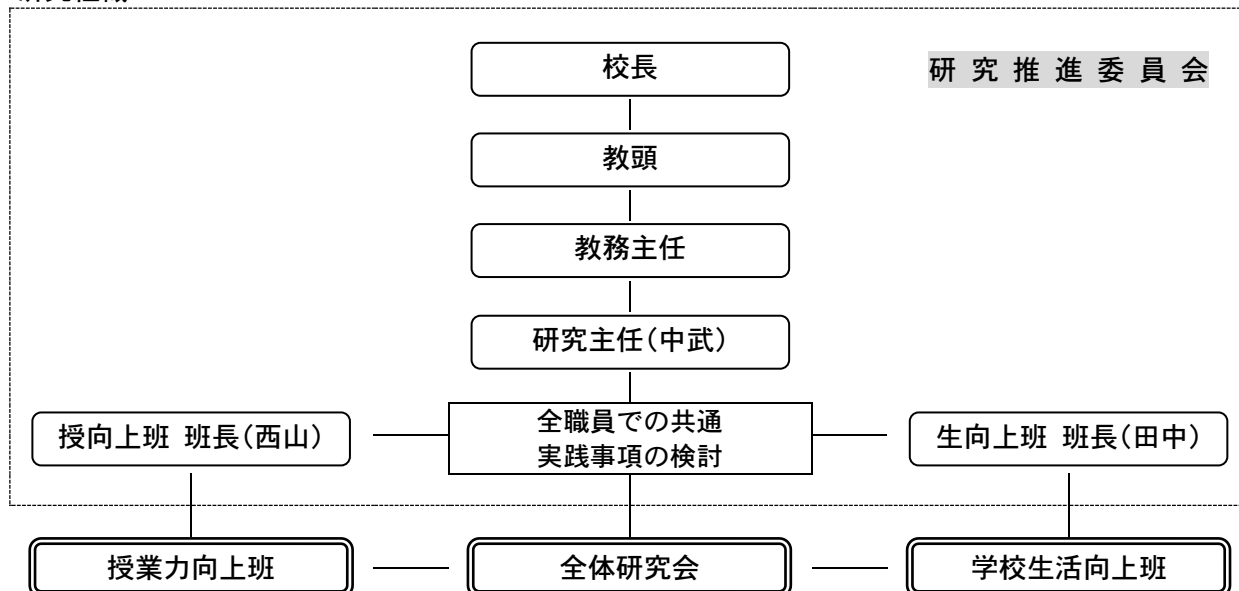
- (1) 日々の授業で、生徒の実態に応じた定着・習熟の場면을重視した学習過程を取り入れ、授業改善を重ねていくことで、「確かな学力」を身につけた生徒を育成することができるだろう。
- (2) 授業以外の教育活動で、生徒のコミュニケーション能力や表現力を高める指導を工夫・改善していくことで、「確かな学力」を身につけた生徒を育成することができるだろう。



研究内容

<p>【授業力向上班】 …授業で、定着・習熟の時間を工夫し、確かな学力を身につけることを目指す班 1年：永山、中武 2年：◎西山、加藤、武田 3年：矢野、榎本、野脇</p>	<p>【学校生活向上班】 …授業以外の教育活動で、確かな学力を身につけるために必要な能力の育成を目指す班 1年：仁田脇、井上 2年：吉田、勝目 3年：◎田中、金丸、須崎、松田</p>
<p>① 定着・習熟の場면을重視した授業づくり ② 授業参観の視点表(職員向け)の作成と活用 ③ 授業評価アンケート(生徒向け)の作成と活用 ④ 成果と課題を共有できる事後研究会の工夫</p>	<p>① 学校生活についてのアンケートの作成と活用 ② 教室以外の掲示物の工夫 ③ スピーチ活動の導入と工夫 ④ 「意見を相手に伝える」エンカウンターの実施</p>
<p>○一単位時間や一单元など一区切りの授業の中に、定着・習熟の場면을重視した授業づくりを提案し、全職員で実践していく。 ○職員が互いに授業を参観しあい、成果や課題を共有しあえる授業研究会の形を工夫していく。</p>	<p>○掲示物などを含む学習環境の整備や、生徒のコミュニケーション能力や表現力を高める指導を工夫・改善していく。 ○自分の意見を表現しやすい雰囲気づくりを工夫し、授業力向上班の取組を支える。</p>

(3) 研究組織



(4) 研究に関する日程等

学期	委員会・研修等	内容	全体	授業力向上班	学校生活向上班
1	4月 3日(火) 研究推進委員会	平成30年度 研究方針			
	4月 4日(水) 職員研修	主題研 班研→全研	平成30年度 研究方針確認		
	4月 9日(月) 職員研修(予備)	主題研			
	4月23日(月) 職員研修	主題研			
	5月21日(月) 職員研修	主題研			
	6月20日(水) 職員研修	主題研			
	7月 4日(水) 職員研修	主題研			
	夏季休業中(未定) 3~4程計画	主題研	研究紀要原稿締切		
	8月29日(水) 職員研修	主題研	研究紀要原稿確認		
2	10月 3日(水) 職員研修	主題研			
	10月24日(水) 職員研修	主題研			
	11月14日(水)	学力向上 研究公開			
	12月19日(水) 職員研修	主題研			
3	1月23日(水) 職員研修	主題研	校内研究のまとめ 作成・提出		
	3月 6日(水) 職員研修	主題研 ※次年度計画			
	3月27日(水) 職員研修	主題研 ※次年度計画			

2 4月4日(水)職員研修について
(1) 全体研修(8:30~9:00)

- ・平成30年度研究計画
- ・組織確認 各班班長の決定
- ・研究の方向性の確認
- ・研究に関する日程等の確認

4月5日(木)全体研より

- ・研究公開の日程を早く示す必要がある
- ・研究公開の授業者を早く決定する必要がある
- ・アンケート等で生徒の変容をつかむ必要がある
- ・

(2) 班別研修(9:10~10:10)

- ・4月からの具体的な取組の検討
- ・班の中での日程・役割の確認等

※まとめたものをデータ化し、共有 → 平成30年度 → 主題研究 に保存してください。

○ 授業力向上班・・・図書室

- ① 定着・習熟の場면을重視した授業づくり
 - ・全職員、年度内に1回参観授業を行います
 - ・指導案(略案)の形式を検討
 - ・11月の研究公開時、どの教科で授業を実施するか
- ② 授業参観の視点表(職員向け)の作成と活用
 - ・前年度作成したものを再度検討
- ③ 授業評価アンケート(生徒向け)の作成と活用
 - ・前年度作成したものを再度検討
- ④ 成果と課題を共有できる事後研究会の工夫
 - ・前年度の課題を踏まえ、事後研の方法と時間などを具体的に検討

○ 学校生活向上班・・・家庭科室

- ① 学校生活についてのアンケートの作成と活用
 - ・「生活」「学習」「表現力」の項目での実態把握
 - ・前年度作成したものをベースに、項目等を検討
- ② 教室以外の掲示物の工夫
 - ・生徒作品など、より効果的な掲示場所、掲示内容の工夫
- ③ スピーチ活動の導入と工夫
 - ・帰りの会でのスピーチ活動の工夫
- ④ 「意見を相手に伝える」エンカウターの実施
 - ・コミュニケーション能力の向上を図る、エンカウターの工夫

3 4月5日(木)職員研修について 8:30~9:30

- ・4月4日(水)判別研修の報告
- ・平成30年度研究計画 組織確認
- ・研究の方向性の確認
- ・研究に関する日程等の確認

(4) 研究のイメージ

基礎：新時代を生き抜く「4つの学ぶ力」

他者から学ぶ力

自ら学ぶ力

自然から学ぶ力

社会から学ぶ力

